

京都の私立高校の専門学科

今回は、京都の私立高校の専門学科についてです。私立高校はほとんどの高校では、普通科が設置されていますが、専門学科のある高等学校もあるので説明したいと思います。

総合学科とは、普通教育を主とする学科である「普通科」、専門教育を主とする学科である「専門学科」に並ぶものとして、平成6年度から導入されたものです。総合学科で行われる教育の特色として、

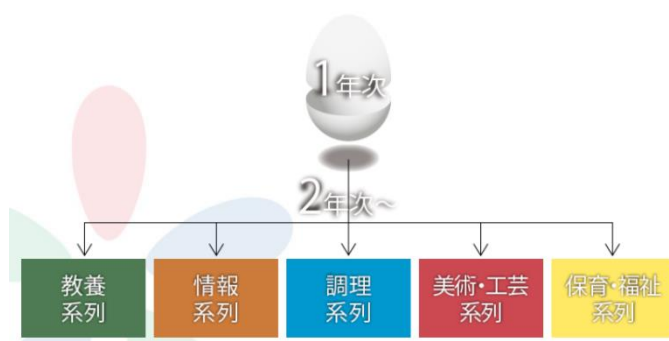
- ・幅広い選択科目の中から生徒が自分で科目を選択し学ぶことが可能であり、生徒の個性を生かした主体的な学習を重視すること。
- ・将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深めさせる学習を重視すること。

などが挙げられます。

洛陽総合高校は、京都市内唯一の総合高校です。

1年次で「産業社会と人間」という科目を通して個々の適性を自分で考え、2年次から専門科目を多く履修する5つの系列に分かれて授業を受けることになります。

専門科目の中には多くの選択科目が準備されており、個々の興味に応じた授業を受けることができるのが特徴です。



京都精華学園高等学校では、普通科（進学Aコース）で、幼児教育選択、看護、医療系選択、パティシエ選択、スポーツ選択、吹奏楽選択という、選択科目が用意されています。

京都両洋高等学校では、普通科（S探究コース）で、芸術、ITサイエンス、医療、福祉、栄養、食物、英語、体育、観光、ホテル、エンタメなどの専門科目の受講があります。普

通科（Jキャリアコース）で、公務員C系、看護C系、体育C系、保育・幼児教育C系、音楽C系の授業があります。

京都翔英高等学校では、普通科（一般クラス）で、ウォラーレ系、スポーツ系、芸術系、情報系に分かれた選択授業が用意されています。

京都聖カタリナ高等学校では、普通科で、子ども保育系、健康スポーツ系、調理・パティシエ系、どうぶつ・医療系、仕事プログラミング系の5つの選択があります。

※公立では、**京都府立南丹高校**が総合学科を置いた高等学校になります。

総合知的探求系列、人間科学系列、テクニカル工業系列、スポーツ健康系列、ビジネス情報系列に分かれています。